

大切なお知らせ
なので、必ず
保護者の方に
渡してください

学びたい キミを 応援します。

みんなに知ってほしい
高校生等へのふたつの支援

高等学校等就学支援金 高校の授業料を支援します。

高校生等奨学給付金 高校の教科書費・教材費などを支援します。

※大学・専門学校での学びについても「給付型奨学金」があります。



文部科学省のwebサイトには、支給額などの各制度の詳細や、各都道府県の連絡先を掲載しています。



高校生等への修学支援

検索

詳しくは裏面へ→

こうとうがっこう しゅうがくしえんきん

高等学校等就学支援金

全国の約80%の生徒が利用している授業料支援の仕組みです。



年収目安※約910万円未満の世帯が対象です。

高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）、高等専門学校（1～3年）、専修学校（高等課程）などの生徒が対象です。

自分の学校で利用できるかどうかは、学校の先生に確認してください。



給付額は学校種、所得の状況によって変わります。※下図参照

国公立高校は授業料負担が実質0円になります。

私立高校などは保護者の所得によって金額が変わります。



申し込みは学校で行います。

高校入学時の4月など手続きが必要な時期に学校から案内があります。

必ず確認してください。

こうこうせいとう しょうがくきゅうふきん

高校生等奨学給付金

教科書費・教材費など、授業料以外の教育費支援の仕組みです。



生活保護世帯・住民税非課税世帯（年収約250万円未満）が対象です。

高等学校、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3年）、専修学校（高等課程）などの生徒が対象です。



給付額は学校種、世帯状況によって変わります。

国公立高校では、1年間で32,300円～129,700円

私立高校では、1年間で52,600円～138,000円がもらえます。

※兄弟姉妹の数などによってもらえる金額が変わります。



申し込みは保護者が通学する学校を通じて、お住まいの都道府県に対して行います。

毎年7月頃に手続きが必要となります。

詳しい方法は、通学する学校またはお住まいの都道府県にお問合せください。

保護者の年収目安※	両方利用できます！ 約250万円未満	約250～910万円 未満	約910万円 以上
高等学校等 就学支援金	◎ 私立高校：約12～30万円※保護者の所得によって変わる 公立高校：約12万円（授業料実質0円）	◎	×
高校生等 奨学給付金	◎ 約3～14万円	×	×

※4人家族（両親・子供2人）の場合の目安です。家族の人数などによって年収目安は変わります。



利用するためには申し込みが必要です。返還は不要です。